

学びの森高松

読書で始まる高松の一日



高松の一日は朝読書から始まります。生徒は静寂の中、10分間の読書に集中します。

「読書記録」をとり、1万ページになったら全校朝礼で表彰されます。この「高松読書マラソンめざせ1万ページ」の取り組みも11年目に入りました。毎年1万ページを突破する生徒が多数出ています。

「チャイム始業」で始まる学習指導



高松中では始業のチャイムと同時に授業を開始します。生徒は、時計を見て、教室移動や次の授業の準備を行います。

授業では、生徒一人ひとりの発言を大切に、質問に対しても丁寧な説明を行うことで、理解の定着を目指しています。

特に、数学・英語では少人数授業を実施し、よりきめ細かい指導ができるように習熟度別授業の実施や、実験・観察の工夫等を図り、個に応じた指導の充実に努めています。

「三行日記」で締めくくる一日



帰りの学活前の5分間は、静寂な中で全員が「三行日記」の記入を行います。

一日の振り返りを記入して終わる内省重視の時間です。



施設

